

曲目解説

研究熱心な各校顧問の選曲により、毎回充実したプログラムで注目されているジョイント。今回も話題作が目白押しです。この解説を楽しみにしている人も居るとの噂…。今回も頑張っておきますよ！

各校演奏

シー・トゥー・スカイ組曲

Sea to Sky Suite

ラルフ・フォード

Ralph Ford (b.1963:アメリカ)

フォードはトロイ大学で音楽教授を務める作曲家で、バンド指導者としても活躍している。この作品は、カナダのプリティッシュコロンビア州を走る国道99号線(Sea to Sky Highway)沿線の4つの風景、(1)ライオンの門...バンクーバー(港町)に架かる橋の名前、(2)シャノンの滝、(3)スタワマス・チーフ...世界有数の巨大な一枚岩。(4)ウイスラー...北米屈指のスキーリゾート、まさに「海から空へ」と続く沿線の風景を音楽で描いた全4曲の組曲である。今回は滝の様子が優雅に歌われる第2曲(2007年作曲)、一枚岩の荒々しさや美しさを描いた第3曲(2008年作曲)を演奏する。この地域では来年、冬季五輪が開催されるのでお忘れなく。

小組曲

Petite Suite

クロード・ドビュッシー

Claude Debussy (1862-1918:フランス)

ドビュッシーは19世紀に主流だったロマン派音楽から脱却し、20世紀の近代音楽への扉を開いた作曲家である。1889年完成のピアノ連弾曲「小組曲」は、1907年頃に友人のアンリ・ビュッセルが管弦楽へ編曲、これが高く評価されて広く知られるようになった。4曲構成の組曲で、各曲とも同じ構成(主部 中間部 主部の再現)で描かれている。今回は優雅な雰囲気第1曲「小舟にて」、躍動的な主部と穏やかな中間部を持つ第4曲「バレエ」を演奏する。

交響曲第5番 第1楽章

Symphony No.5 - :Allegro con brio

ベートーヴェン

Ludwig van Beethoven (1770-1827:ドイツ)

ベートーヴェンの9つの管弦楽交響曲のなかで、年末に演奏される「第9番」と並んで、高い知名度を誇るのが「第5番」である。1808年作曲、全4楽章、演奏時間40分の大作で、今回演奏する第1楽章冒頭の印象的なフレーズは、誰もが一度は耳にしたことがあるだろう。

シング・シング・シング

Sing Sing Sing

ルイ・プリマ

Louis Prima (1910-1978:アメリカ)

言わずと知れたジャズのスタンダードナンバーの1つ。1936年にプリマが作曲、瞬く間に人気曲となり、現在でも世界中で愛されている。2004年公開の映画「スウィング・ガールズ」では、女子高生がビッグバンドを組んでこの曲を演奏するシーンがあり、人気が再燃した。

そりすべり

Sleigh Ride

ルロイ・アンダーソン

Leroy Anderson (1908-1975:アメリカ)

アンダーソンは軽い曲調の管弦楽曲を多く手掛けた作曲家である。アメリカの名門楽団の1つ「ボストン・ポップス・オーケストラ」(1885年設立)で、長年指揮者を務めたA.フィードラー(在任期間:1930-1979)に才能を見い出された関係から、アンダーソンの初期の作品の多くが、この楽団により初演が行われ、現在でも楽団の重要なレパートリーとなっている。

1948年作曲「そりすべり」は、クリスマスの季節になると、どこでも流れる有名な曲である。まさに雪上を滑るソリを思わせる軽快な曲で、最後に現れる「馬のいななき」にも注目しよう。

CALNAVAL ~すべての戦う人たちへ~

2010年 ゆめ半島千葉国体イメージソング

中村正人

Masato Nakamura (b.1958:日本)

DREAMS COME TRUE(通称：ドリカム)は、1988年結成の人気バンドである。その音楽はドラマ主題歌やCM音楽などに幅広く使われており、その人気は今もなお衰えを知らない。今回演奏する「CALNAVAL ~すべての戦う人たちへ~」は、2007年12月にリリースされた14枚目のアルバム「AND I LOVE YOU」に収録されたエネルギッシュな1曲。来年秋に千葉県で開催される「ゆめ半島千葉国体」のイメージソングに採用されており、今後聴く機会も多くなるであろう。なお、作曲者は市川市内の高校の卒業生で、この地域にゆかりのある人物とのこと。

3つのジャポニスム

Les Trois Notes du Japon

() 鶴が舞う () 雪の川 () 祭り

真島俊夫

Toshio Mashima (b.1949:日本)

真島俊夫は日本を代表する作曲家の1人である。吹奏楽界での活躍は、全日本吹奏楽コンクール課題曲(3回採用)をはじめとする作曲活動、ポップス曲の吹奏楽への編曲など、多彩なレパートリーの提供があげられる。2001年作曲「3つのジャポニスム」は、作曲者自身が日本的だと感じるものを、西洋的な楽器編成、技法などを駆使して書き上げた傑作で、3曲構成の組曲である。() 鶴が舞う...丹頂鶴の求愛の踊り、() 雪の川...冬の峡谷を流れる川に、雪がしんと降り続ける墨絵のような光景、() 祭り...日本の夏祭りの様子 - 夏の青空に入道雲が出ている様子 - 作曲者自信が慣れ親しんだ青森の「ねぶた」のリズムが現れる。吹奏楽曲では滅多に出番のない和楽器も多く使用されているのが面白い。随所に工夫が見られるが、第1曲では鶴の羽ばたきや鳴き声の描写が挿入されている。注目して聴いてみよう。

ロスト・ムーン

Lost Moon - Man on The Moon Episode 2

清水大輔

Daisuke Shimizu (b.1980:日本)

- | | |
|--------------|------------------------------|
| (0) 大統領の夢 | オープニング・タイトル |
| () 大統領のスピーチ | リプライズ |
| () アポロ13号 | 打ち上げ、運命の日1970年4月13日 |
| () トラブル発生 | ロストムーン |
| () 生還 | (演奏時間の関係で、今回は第3曲、第4曲は演奏しません) |

清水大輔は新進気鋭の若手作曲家。この曲は人類初の月面探査に成功した「アポロ11号」の偉業を描いた、2001年作曲「マン・オン・ザ・ムーン」の続編にあたる。2007年作曲の本作は、致命的な事故により、月面に着陸出来ずに帰還した悲劇の宇宙船「アポロ13号」を題材として、アポロ計画の発端となったケネディ大統領のスピーチに始まり、宇宙船の打ち上げ、トラブル発生、それを克服して地球に無事に帰還するまでの物語を描いた、4曲構成の組曲である。今回演奏するのは前半2曲のみであるが、十分にアポロ計画の興奮が伝わってくるであろう。

OBバンド演奏

「また一緒に音楽やりたいね...」そんな思いから、かつてジョイントで出会った楽友たちが再び集まって結成されました。現役時代を振り返って感じること、卒業してからも大切にしてきた音楽や吹奏楽への熱き思いが、皆様に届きますように...

演奏曲目 アルヴァマー序曲 (J.バーンズ) ...1981年作曲の名作です
Mr.インクレディブル(M.ジアッチーノ) ...2004年公開映画の音楽
指揮：井口信之輔 2006年3月市川西高校卒(洗足学園大学4年生)

1年生合同バンド

ワイルドナイツ!

Wild Nights!

ティケリは南カリフォルニア大学の作曲科教授を務めながら、管弦楽、吹奏楽、室内楽、合唱など、多岐に渡る分野で個性的な作品を作曲している。この曲は19世紀アメリカの女流詩人E.ディンキンス(1830-1886)の「嵐の夜、嵐の夜、もしあなたと居られたら、嵐の夜は私達には贅沢なものになる...(略)」という詩に着想を得て作曲された(2007年出版)。喜びと色彩感あふれ、精神の自由をテーマに描かれたこの曲は、楽器による音詩と言えるだろう。

フランク・ティケリ

Frank Ticheli (b.1958:アメリカ)

カーペンターズ・フォー・エバー

Carpenters Forever

カーペンターズ(米国)は、1970年代を中心にアメリカのみならず、世界の音楽界に旋風を巻き起こした兄リチャード、妹カレンによる兄妹デュオである。14年間の活動期間に数々の名曲を生み出し、現在でも多くのファンに支持されている。このカーペンターズの名曲の中から、とくに親しみやすい代表作を、日本を代表する音楽家の1人、真島俊夫(前述)がメドレーにしたのが本作である(1996年出版)。収録曲はシング、愛のプレリュード、トップオブザワールド、遙かなる影、スーパースター、ふたりの誓い。まさに名曲揃い。お楽しみに!

真島俊夫(編曲)

Toshio Mashima (b.1949:日本)

吹奏楽のための交響的詩曲「モーセとラメセス」 八木澤教司

- 松戸市民吹奏楽団第30回記念定期演奏会委嘱作品 -

Satoshi Yagisawa (b.1975:日本)

八木澤教司さんは市川市在住の若手作曲家で、管弦楽曲、吹奏楽曲、アンサンブル曲など手掛けるジャンルは幅広い。ジョイント参加各校の顧問とも顔馴染みで、今回の演奏会でも全国を飛び回る多忙な仕事の合間に、合同練習の会場にお見えになった。また、市川西高校吹奏楽部のために全4楽章の大作「ザ・ウエスト・シンフォニー」を作曲、2006年に全曲完成した。次々と新作を発表しており、創作意欲は衰えを知らない。なお、来年12月23日に開催予定の次回演奏会(第20回記念)のために、八木澤さんに新作を依頼している。お楽しみに!

今回演奏する「モーセとラメセス」は、2009年7月に初演が行われたばかりの新作である。舞台は古代エジプト。王家に育ったモーセは、実は自分が奴隷生活を強いられているヘブライの民の出身であることを知る(一方のラメセスはファラオの直系の王子)。ヘブライの民はファラオの圧政から逃れるため、モーセに率いられてエジプトを脱出する...という物語に基づく。華やかな王宮の音楽、重労働を強いられるヘブライの民、追跡を振り切り脱出するも、海に行く手を阻まれる。モーセが杖を振りかざすと奇跡が起こり、海が二つに割れ、ヘブライの民は脱出に成功するという内容が描かれている。ドラマティックな展開が魅力的である。

第19回ジョイントコンサート練習記録

9月28日(月) 打ち合わせ [顧問・生徒代表] (船橋西高校)

11月1日(日) 第1回 1日練習

11月3日(祝) 第2回 1日練習

11月14日(土) 第3回 1日練習

11月15日(日) 第4回 1日練習

11月21日(土) 第5回 1日練習

11月23日(祝) 第6回 1日練習()

11月29日(日) 第7回 1日練習

12月19日(土) 第8回 1日練習

12月20日(日) 第9回 1日練習

12月23日(祝) 第10回 1日練習

12月25日(木) リハーサル・本番 (市川市民会館)

練習場所

・1年合同バンド: 国分高校

・2年合同バンド: 市川西高校

11/23 1・2年両方とも

: 船橋西高校

<http://ginzi.blog.ocn.ne.jp/> (市川西)

<http://darkgreen.tea-nifty.com/> (実 勅)

2年生合同バンド

アルメニアンダンス(全曲)

Armenian Dances

アルフレッド・リード

Alfred Reed (1921-2005:アメリカ)

- | | |
|---------------------------|----------------|
| 1. Armenian Dances Part I | |
| 「ツイラニー・ツァー」 | (あんずの木) |
| 「ガカヴィ・イエルク」 | (やまうずらの歌) |
| 「ホイ・ナザン・イーム」 | (おーい、僕のナザン) |
| 「アラギヤス」 | (アラギヤス山) |
| 「ニャー・ニャー」 | (行け、行け) |
| Armenian Dances Part | |
| 2. 第1楽章「ホヴ・アレク」 | (農民の嘆き) |
| 3. 第2楽章「クーマー」 | (婚礼の舞曲) |
| 4. 第3楽章「ロルヴァ・ホロヴェル」 | (ロリ地方の民謡) ロリの歌 |

吹奏楽界の巨匠、リード博士が他界したのは2005年。生涯で5つの交響曲、7つの組曲など大作も含めて多くの優れた吹奏楽曲を作曲、近代吹奏楽の発展への貢献は計り知れない。

リードは民族音楽の宝庫と言われるアルメニアに伝わる音楽を素材として、この作品の第1部にあたるPart を1972年に作曲した。アルメニアの民族音楽に惹かれ、その収集で知られる、ゴミダス・ヴァルタベッド(1869-1935)の集めた音楽集から5曲が引用されており、途切れずに一気に演奏される。輝かしい金管楽器によるファンファーレにより幕開けとなり、ドラマティックに展開しながら、最後は熱狂的なクライマックスへと突き進み終幕を迎える。

前作から引き続く形で、1975年にPart が作曲された。こちらは3つの楽章に分割されている。第3楽章では、Part との類似性も見られ、やはり熱狂的な結末で締めくくられる。なお、1976年にPart の世界初演が行われた際に、Part も演奏された。この2作品は連続して聴かれるとき、初めてその全体像が理解されるとも言われる。全曲を通すと全4楽章、演奏時間30分におよぶ大作であるため、全曲演奏を聴く機会は少ないが、今回は2名の指揮者で果敢に挑戦することになった。リード自ら最高傑作の1つとみなした名作。お楽しみに。

ペドロの奇跡の夜

The Miraculous Night of Pedro

樽屋雅徳

Masanori Taruya (b.1978:日本)

樽屋雅徳は千葉県出身の若手作曲家。吹奏楽曲を数多く手掛けており、コンクールや演奏会で聴く機会も多い。この「ペドロの奇跡の夜」は2009年出版の新作。作曲者の解説より...

ペドロの住む町の教会には、大きくて立派な鐘があります。ところが、まだ一度も、この鐘がなる音を聞いた人はありませんでした。その鐘を鳴らす方法はただ一つ、クリスマスの夜に神様に贈り物をするのでした。

クリスマスの夜、ペドロは小さな弟と教会へ神様に贈り物をしようと出かけますが、途中で女性が倒れているのを見つけます。楽しみにしていたクリスマス... しかしペドロは、女性を助けるために弟に一人で教会へ行かせます。

一方、教会は鐘の音を聞きに来た人々でにぎわっていました。キラキラとまぶしく光る宝石、山のような金貨、立派な銀食器...。だれもがすばらしい贈り物をして、鐘を鳴らそうと考えていました。けれど、どんな贈り物をしても鐘は鳴りません。

誰もが諦めかけたその時...突然、美しい鐘の音が鳴り響きました。贈り物をしたのは、たった一枚の銀貨を兄から預かったペドロの弟でした。神様への贈り物とは、金貨でも宝石でもない、ペドロのような優しい心だったのです。

雪の中の街の教会へと続く道や、ペドロの優しい心、それによって街中に鳴り響く鐘の音。情景が想い浮かぶような素敵な曲である。折しもクリスマス。演奏会のラストを飾るのに相応しい曲である。最後は感動のフィナーレが待っている。皆様の心にも鐘が響きますように。